

## 結 果 の 概 要 II

## 2 市町別人口

(1) 総人口

推計人口を市町別にみると、浜松市が 794,025 人で最も多く、次いで静岡市の 695,416 人と続き、この両市で県人口の 40.7%を占めている。

前年に比べ人口が増加したのは4市町で、増加数は長泉町の295人が最も多く、増加率でも長泉町の0.69%が最も高くなっている。

一方、人口が減少したのは 31 市町で、減少数は静岡市の 3,671 人が最も多く、減少率では川根本町の 2.94% が最も高くなっている。

図 7 市町別人口増減率（平成 30 年 10 月 1 日現在 対前年比）

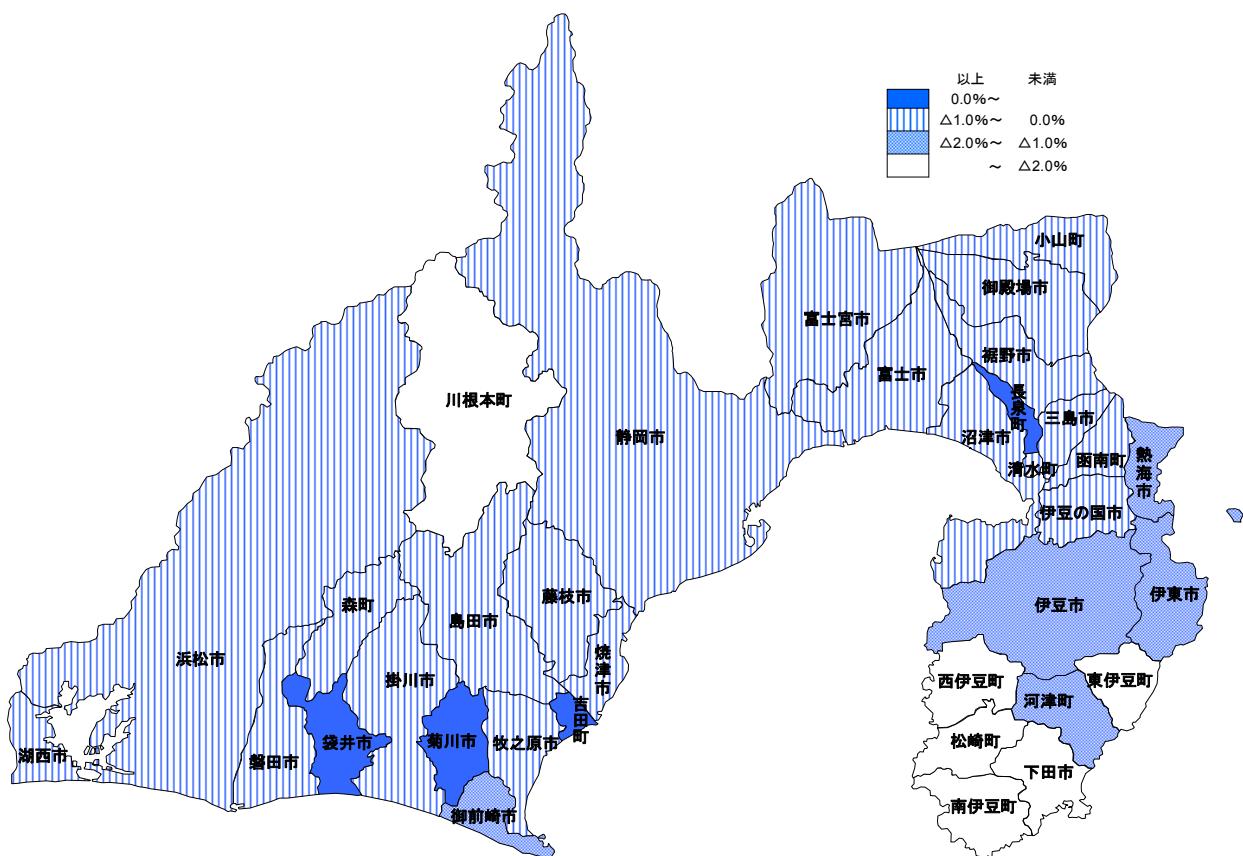


表 3 人口増減の大きい市町

順位	増加数(人)	順位	増加率(%)	順位	減少数(人)	順位	減少率(%)
1	長泉町 295	1	0.69	1	静岡市 3,671	1	川根本町 2.94
2	袋井市 291	2	0.61	2	浜松市 2,089	2	西伊豆町 2.85
3	菊川市 284	3	0.34	3	沼津市 1,312	3	松崎町 2.26
4	吉田町 34	4	0.12	4	富士宮市 817	4	下田市 2.22
※当年増加市町数 4							
※前年増加市町数 5							
(注) □ 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)							
5	伊東市 779	5	7	5	東伊豆町 2.10	6	
6	富士市 766	4	6	6	南伊豆町 2.07	5	
7	焼津市 742	5	7	7	伊豆市 1.50	8	
8	島田市 663	6	8	8	河津町 1.48	7	
9	三島市 651	9	9	9	熱海市 1.33	17	
10	藤枝市 538	12	10	10	御前崎市 1.23	19	

## (2) 自然動態

1町(長泉町)で増加し、増加数は182人、増加率は0.42%となっている。一方、34市町で減少となり、減少数は静岡市が3,417人で最も多く、減少率では西伊豆町が2.12%で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数(人)	順位	増加率(%)	順位	減少数(人)	順位	減少率(%)
1	長泉町 182	2	0.42	1	静岡市 3,417	1	西伊豆町 2.121
※当年増加市町数 1							
※前年増加市町数 2							
(注) □ 内の数字は前年の順位							
2	浜松市 2,182	2	2	2	南伊豆町 1.888	4	
3	沼津市 1,325	3	3	3	川根本町 1.859	2	
4	伊東市 847	4	4	4	松崎町 1.735	3	
5	富士市 842	5	5	5	河津町 1.734	7	
6	焼津市 749	6	6	6	東伊豆町 1.699	6	
7	富士宮市 605	11	7	7	熱海市 1.614	5	
8	熱海市 597	7	8	8	下田市 1.295	8	
9	島田市 554	9	9	9	伊豆市 1.288	9	
10	藤枝市 530	8	10	10	伊東市 1.264	10	

## (3) 社会動態

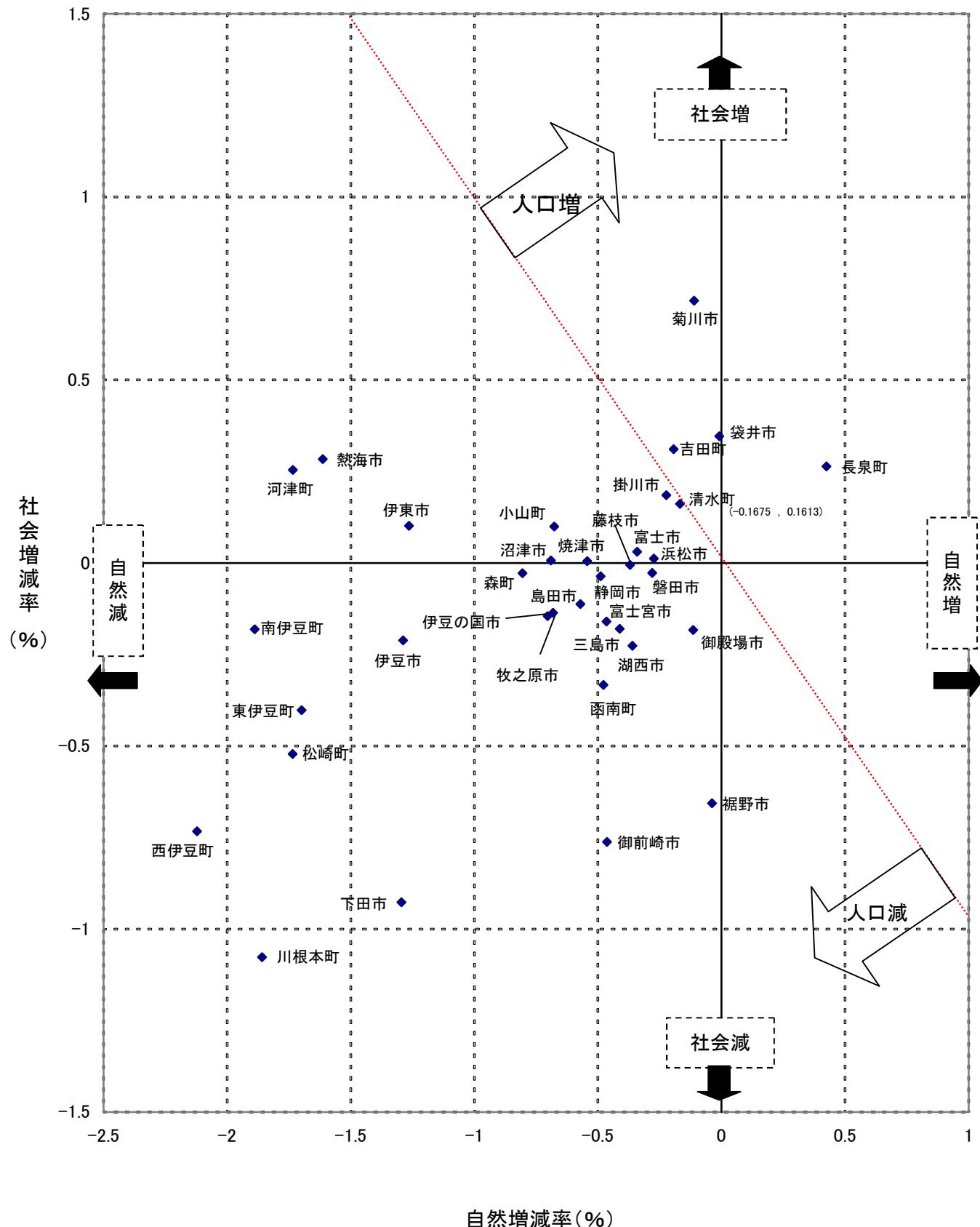
14市町で増加し、増加数は菊川市が336人で最も多く、増加率でも菊川市が0.72%で最も高くなっている。一方、21市町で減少となり、減少数は裾野市が342人で最も多く、減少率では川根本町が1.08%で最も高くなっている。

表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数(人)	順位	増加率(%)	順位	減少数(人)	順位	減少率(%)
1	菊川市 336	14	0.72	14	裾野市 342	3	1.08
2	袋井市 299	9	0.35	10	静岡市 254	-	0.93
3	掛川市 213	4	0.31	5	御前崎市 245	18	0.76
4	長泉町 113	5	0.28	1	富士宮市 212	-	0.73
5	熱海市 105	3	0.26	2	下田市 204	6	0.66
6	浜松市 93	1	0.25	-	三島市 200	16	0.52
7	吉田町 90	11	0.19	4	御殿場市 161	7	0.40
8	富士市 76	-	0.16	7	湖西市 133	2	0.33
9	伊東市 68	7	0.102	6	函南町 124	10	0.23
10	清水町 52	13	0.100	-	島田市 109	8	0.21

(注) □ 内の数字は前年の順位(「-」は減から増、増から減へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



#### (4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の16.09%、最も低いのは熱海市の6.38%で、その差は9.71ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の61.89%、最も低いのは西伊豆町の42.85%で、その差は19.04ポイントとなっている。

老人人口割合が最も高いのは西伊豆町の50.18%、最も低いのは長泉町の22.02%で、その差は28.16ポイントとなっている。

表 6 市町別年齢構成割合

(1) 上位10市町 (単位:%)

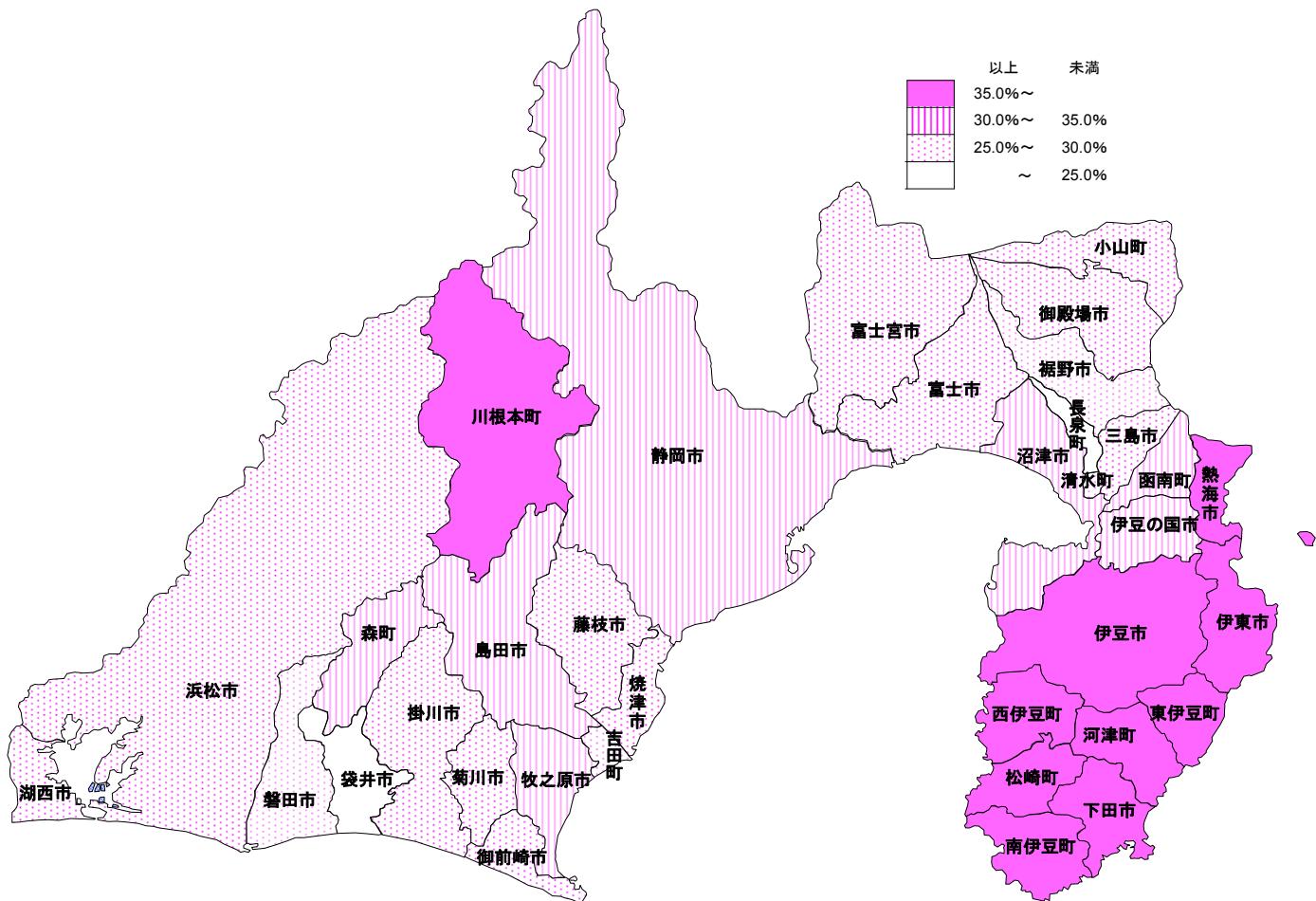
順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老人人口	
1	長泉町	16.09	1	長泉町	61.89	1	西伊豆町	50.18
2	袋井市	14.99	2	吉田町	61.10	3	川根本町	49.00
3	菊川市	14.39	4	袋井市	61.03	2	熱海市	47.20
4	裾野市	14.018	5	御殿場市	60.98	4	南伊豆町	46.95
5	御殿場市	14.015	3	清水町	60.75	5	松崎町	46.34
6	掛川市	13.95	6	裾野市	60.11	6	東伊豆町	46.30
7	清水町	13.49	8	湖西市	59.82	8	河津町	42.42
8	磐田市	13.44	9	小山町	59.45	7	伊東市	42.30
9	吉田町	13.38	7	富士市	59.15	9	下田市	41.52
10	浜松市	13.24	10	菊川市	58.97	10	伊豆市	40.66

(2) 下位10市町 (単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老人人口	
1	熱海市	6.38	1	西伊豆町	42.85	1	長泉町	22.02
2	川根本町	6.57	2	南伊豆町	44.23	2	袋井市	23.98
3	西伊豆町	6.98	3	川根本町	44.44	3	御殿場市	25.00
4	東伊豆町	7.39	4	松崎町	45.63	4	吉田町	25.52
5	松崎町	8.03	5	東伊豆町	46.31	6	清水町	25.76
6	南伊豆町	8.82	7	熱海市	46.42	5	裾野市	25.87
7	伊豆市	8.83	6	河津町	47.41	7	菊川市	26.64
8	下田市	9.15	8	伊東市	48.40	8	掛川市	27.29
9	伊東市	9.30	9	下田市	49.33	9	湖西市	27.51
10	河津町	10.17	10	伊豆市	50.52	10	浜松市	27.89

(注)■内の数字は前年の順位

図 9 市町別老年人口割合（平成 30 年 10 月 1 日現在）



### (5) 平均年齢

平均年齢が最も高いのは、川根本町の 59.37 歳、最も低いのは長泉町の 43.21 歳で、その差は 16.16 歳となっている。

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

順位	高い市町		順位	低い市町	
	順位	年齢		順位	年齢
1	川根本町	59.37	1	長泉町	43.21
2	西伊豆町	59.01	2	袋井市	44.48
3	熱海市	57.56	3	御殿場市	45.15
4	松崎町	57.37	4	裾野市	45.55
5	南伊豆町	56.98	5	菊川市	45.76
6	東伊豆町	56.89	6	清水町	45.78
7	下田市	54.75	7	吉田町	45.82
8	河津町	54.63	8	掛川市	46.61
9	伊豆市	54.52	9	磐田市	46.80
10	伊東市	54.42	10	湖西市	46.86

(注) □ 内の数字は前年の順位

### 3 地域別年齢構成割合

平成30年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の13.42%、最も低いのは「伊豆半島地域」の10.48%となっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは「東部地域」の58.95%、最も低いのは「伊豆半島地域」の54.24%となっている。

老人人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の35.28%、最も低いのは「西部地域」の27.67%となっている。

また、老人人口割合を平成12年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は15.35ポイント増、「東部地域」は12.67ポイント増、「中部地域」は12.12ポイント増、「西部地域」は10.27ポイント増となっている。

なお、県全体では11.88ポイント増となっている。

図10 地域別年齢構成割合の推移

図10-1

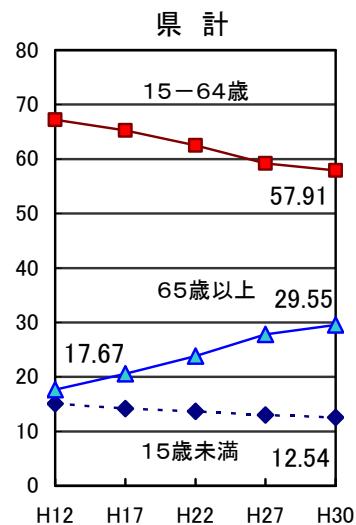


図10-2

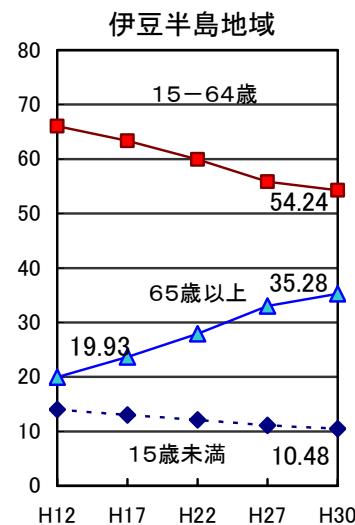


図10-3

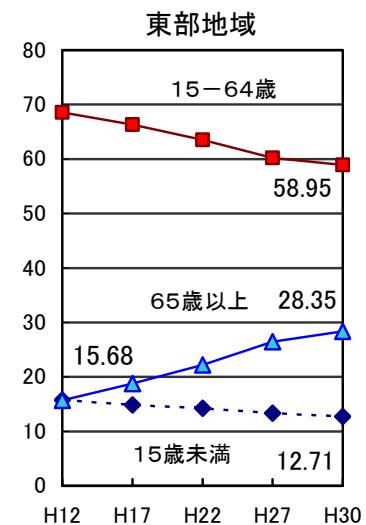


図10-4

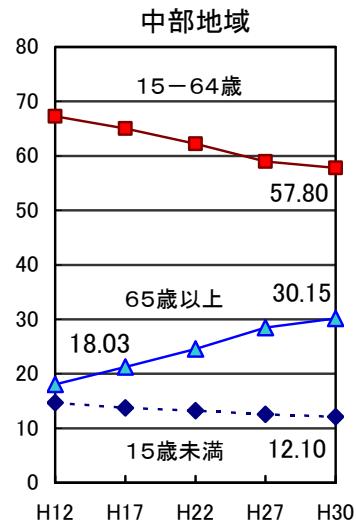
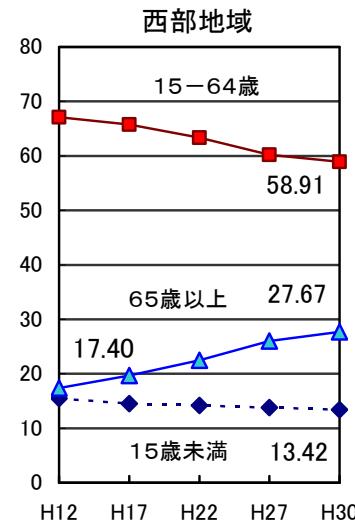


図10-5



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

## 4 外国人口

### (1) 総人口

平成 30 年 10 月 1 日現在の本県の外国人人口は、74,766 人で前年に比べ 5,979 人増加し、増加率は 8.7% となっている。

男女別にみると、男 36,102 人、女 38,664 人で、性比は 93.37 となっている。

本県の総人口に占める割合は、2.04% で、前年より 0.17 ポイント増加した。

表 8 外国人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の 増減率 (%)	総人口に 占める割合 (%)
	総数	男	女		
26年	45,608	20,513	25,095	-2.4	1.23
27年	59,596	27,649	31,947	30.7	1.61
28年	63,049	29,448	33,601	5.8	1.71
29年	68,787	32,600	36,187	9.1	1.87
30年	74,766	36,102	38,664	8.7	2.04

※平成 27 年の人口は、国勢調査確定値。

※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

### (2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の 19,527 人が最も多く、外国人人口全体の 26.12% を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは 29 市町で、増加数では浜松市の 1,422 人が最も多くなっている。

一方、前年より減少したのは 6 市町で、減少数では裾野市の 63 人が最も多くなっている。

地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)	
1	浜松市	19,527	1	菊川市	6.20	1	浜松市	1,422
2	静岡市	8,592	2	吉田町	4.64	2	静岡市	784
3	磐田市	6,689	3	湖西市	4.16	3	磐田市	469
4	富士市	4,536	4	磐田市	4.02	4	袋井市	413
5	掛川市	3,571	5	袋井市	3.99	5	沼津市	374
							裾野市	63
							川根本町	6
							松崎町	4
							伊豆市	3
							南伊豆町	2

(注) □ 内の数字は前年の順位

図 11 市町別外国人人口割合（平成 30 年 10 月 1 日現在）

